

刊行概要の変更について

刊行概要は、区史の装丁や組体裁、執筆者が原稿を執筆するための基本ルールを定めた執筆要項など、区史を刊行するために必要な項目をまとめたものです。

平成 30 年度第 1 回港区史編さん委員会において決定し、令和元年度第 2 回及び令和 2 年度第 1 回港区史編さん委員会で、一部変更されました。

この度、次のとおり刊行概要を変更しました。

刊行概要	変更前	変更後	備考
7 (冒頭)	—	<u>※以下を原則としますが、時代ごとの資料特性や考え方により、変更が生じる可能性があります。</u>	時代ごとに表記が異なる場合があるため。
7 (1) 構成	・執筆者略歴	(削除)	執筆者の肩書のみとします。
7 (1) 構成	・索引	(削除)	WEBの「キーワード検索」機能を索引に代えます。
7 (1) ③	本文、コラムとも、文体は「だ・である」体とします。	本文、コラムとも、文体は「だ・である」体とします。 <u>ただし、図説版については、「です・ます」体とします。</u>	図説版については、より読みやすく親しみやすいものとしたため。
7 (2) ②約物	・文章全体の注釈、筆者名、クレジットなどは () の前に句点を付けます。	(削除)	() の後に文章が続く場合、() 内の文章が、前の文章に係るのか後ろの文章に係るのか判別がつきにくいため。
7 (2) ⑤人名	・人名の後に全角 () を用いて、(生年～没年) を記載します。	・ <u>適宜</u> 、人名の後に全角 () を用いて、(生年～没年) を記載します。	主要人物にのみ生没年を記載します。
7 (4) ③返り点	・引用文中などにおける漢文のレ点や一・二点などの返り点については、文字フォントを上付きにします。 例) 日一天無レ雲、風静ニシテ如レ春	(削除)	通常の漢文の返り点のルールに則って表記します。